

www.gea.or.jp

地球環境行動会議事務局

〒105-0003 東京都港区西新橋1-14-2 新橋SYビル4F
(公財)地球環境戦略研究機関内 GEA事務局
TEL: 03-3595-1081 FAX: 03-3595-1084
E-mail: gea@gea.or.jp

令和6年10月現在

GEA
Global Environmental Action

地球環境行動会議



ご挨拶

気候変動問題はまさしく人類のみならず地球上の生物、全てにとって滅亡の危機を招く看過してはならない深刻な問題です。すでに異常気象により世界各国で猛暑、旱魃、暴風雨による大洪水等で甚大な被害が起きています。これまで経験したことがない大災害を引き起こしています。その原因は私たちの豊かな生活を可能にした電力等のエネルギー源である石油、石炭、いわゆる化石燃料消費が大気中

に膨大なCO₂を排出してきたからです。膨大な量のCO₂は地球を包み込み温室効果ガスとして気温をどんどん上昇させてきました。日本の夏の猛暑は夏休みの学校のグラウンドを熱中症対策で閉鎖しなくてはならないほどで、今や子どもでも脱炭素が不可欠なメカニズムは理解しています。

人類を繁栄させてきた石油、石炭等の化石燃料に代わるもの、太陽光発電や原子力発電、そのほか脱炭素エネルギー源を国際協力により加

速推進して導入していかなくは人類の未来は悲惨なものとなるとわかっていても関わらず、2050年までにCO₂排出量実質0の達成は危ぶまれています。

グラスゴー気候合意の実施を世界各国が確実に履行して、エネルギー安全保障の強化とエネルギーコストの削減を進めつつ、1.5度目標を堅持できるよう隔年で開催されるGEA国際会議を契機に国際世論を沸騰させる努力を続けてまいります。一層のご理解、ご支援をGEAに賜りますようお願い申し上げます。



山口 俊一
6代目会長

GEAとは

1991年、「環境と開発に関する国連特別総会（UNCED）」、いわゆる地球サミットの開催を翌年に控えて、地球環境保全と持続可能な開発を両立させるために必要な資金調達の問題が、サミットの成否を握るという状況を呈していました。このため、モーリス・ストロングUNCED事務局長の要請を受けて、竹下登元首相が中心となって、カーター元米国大統領はじめ、国際世論に影響力のある有力者を東京に集め国際会議「地球環境賢人会議」を開催することになりました。この会議の成果は、リオ・サミットの成功に大いに貢献することになりました。GEAは、「地球環境賢人会議」の開催の経緯を踏まえて、開催に尽力した日本側の有力者、超党派国会議員・経済界・学会等をメンバーに、竹下登元首相が発起人となって、発足したNGOです。初代会長は竹下登元首相、2代目は海部俊樹元首相、3代目会長は平岩外四経団連名誉会長、4代目会長は斎藤十朗元参議院議長、現会長は竹下亘衆議院議員・元復興大臣です。また、アメリカ合衆国第39代大統領のジミー・カーター氏、及びコスタ・リカ共和国前大統領、ホセ・フィーゲレス氏も海外顧問です。

1999年、GEAは地球環境と持続可能な開発分野における国際社会への長年にわたる貢献が高く評価され、団体として国連環境計画（UNEP）からグローバル500賞が授与されました。GEAは定期的に、世界のトップレベルの研究機関や国際機関の方々、また国際世論の形成に影響力のある方々の参加のもと、国際会議を開催し、世界の危機的な環境の状況を明らかにすると共に、会議で採択された提言を、世界に向けて発信しています。



初代会長
竹下 登



2代目会長
海部 俊樹



3代目会長
平岩 外四

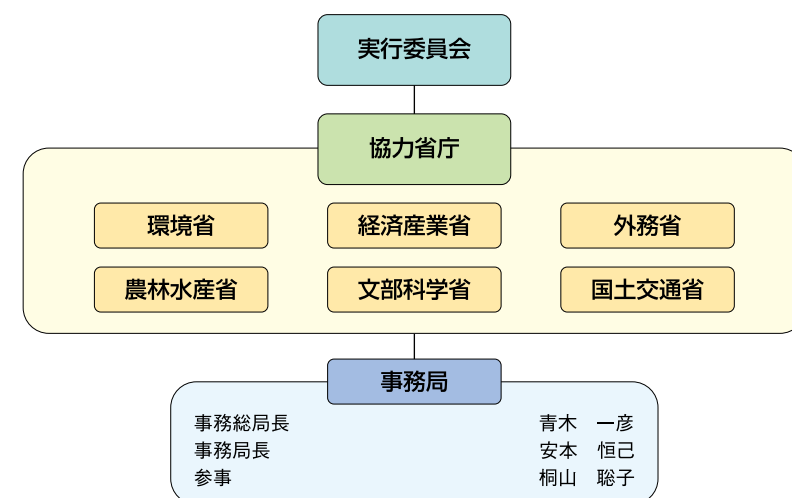


4代目会長
斎藤 十朗



5代目会長
竹下 亘

GEAの組織



地球環境行動会議実行委員会メンバー紹介

会長



山口 俊一
衆議院議員
元内閣府特命担当大臣
(沖縄及び北方対策、
科学技術政策、
宇宙政策)

会長代理



小淵 優子
衆議院議員
元経済産業大臣

海外顧問



ジミー・カーター
第39代
アメリカ合衆国
大統領



ホセ・マリア・フイゲレス
コスタ・リカ共和国
元大統領

顧問



村山 富市
元内閣総理大臣



清水 嘉与子
元環境庁長官
GEA元事務総局長



松本 吉郎
(公社)日本医師会
会長



藏内 勇夫
(公社)日本獣医師会
会長



武内 和彦
公益財団法人
地球環境戦略研究機関
理事長

相談役



広中 和歌子
元環境庁長官
GEA元事務総局長

副会長



猪口 邦子
参議院議員
元内閣府特命担当大臣
(少子化対策・男女共同
参画)



近藤 昭一
衆議院議員
元環境副大臣



遠藤 敬
衆議院議員



若松 謙維
参議院議員
元復興副大臣

事務総局長



青木 一彦
参議院議員
内閣官房副長官
元国土交通副大臣

委員 (50音順)



青山 幸恭
総合警備保障(株)
特別顧問



東 祥三
千葉科学大学学長
GEA元副会長



井上 信治
衆議院議員
元国際博覧会担当
大臣、元内閣府特命
担当大臣



加藤 修一
元環境副大臣
GEA元副会長



小池 百合子
東京都知事
元環境大臣



小林 光
元環境省事務次官
元慶應義塾大学院
教授(SFC)
元東京大学客員教授



斉藤 鉄夫
衆議院議員
国土交通大臣
元環境大臣



佐藤 裕久
(株)バルニバービ
代表取締役会長



更家 悠介
サラヤ(株)
代表取締役社長



篠原 孝
衆議院議員
元農林水産副大臣



島田 明
日本電信電話(株)
代表取締役社長



自見 庄三郎
元内閣府特命担当大臣
(郵政改革・金融)
元郵政大臣



鈴木 俊一
衆議院議員
前財務大臣
元環境大臣



須藤 元
日本ミシュランタイヤ
(株)代表取締役
社長



角 和夫
阪急阪神
ホールディングス(株)
代表取締役会長
グループCEO



竹本 和彦
東京大学未来ビジョン
研究センター
シニア・リサーチ・
フェロー



林 幹雄
衆議院議員
元経済産業大臣



船田 元
衆議院議員
元経済企画庁長官



堀内 容介
積水ハウス(株)
代表取締役
副会長執行役員



増田 厚司
(株)アミカテラ
代表取締役会長



松本 秀一
SGホールディングス(株)
代表取締役社長



三木 圭恵
衆議院議員



柳本 顕
衆議院議員



山崎 誠
衆議院議員



吉田 淳一
三菱地所(株)
取締役会長

賛助会員

東京ガス(株)
東京電力(株)
東洋羽毛工業(株)
(株)ユニパック

GEAの活動

1991

1991年2月

「地球環境賢人会議」事務局として発足

地球環境問題の解決と持続可能な開発に貢献することを目的としたNGOとして発足。



竹下登 元内閣総理大臣

1992

1992年4月

「地球環境賢人会議」開催

開会式の首相挨拶で、新しい地球環境時代に相応しい法律の整備を指示したことが契機となり、「環境基本法」が制定された。

「地球環境と開発のための資金に関する東京宣言」を発表。

6月

リオサミット（環境と開発に関する国連会議）参加

賢人会議の成果を特別セッションで発表。

1994
~95

1994年10月

「地球環境東京会議」開催

「東京宣言1994」を世界に向けて発信し、持続可能な開発に関する国際的な対話の強化を提唱。



全体会合



会議の様相

1995年11月

組織名を現在の「地球環境行動会議」に変更

1997

1997年1月

「政令指定都市環境サミット97」開催

12の政令指定都市、環境庁、地球環境行動会議、UNEP国際環境技術センター出席のもと、新しい世紀における環境保全に向けての大都市の変革に向けた理念と方向性を明らかにした「政令指定都市環境宣言」をまとめる。

3月

「地球環境パートナーシップ世界会議」開催

UNDP/CSD（国連持続可能な開発委員会事務局）との共催。

「東京宣言1997」を国連環境特別総会で発表。



アル・ゴア アメリカ副大統領



皇太子同妃両殿下

全体議長ビルギッタ・ダール
スウェーデン国会議長

12月

気候変動枠組条約第3回締約国会議（COP3）に参加：「JAPAN DAY」を開催

各国の主要メンバーを招いて、日本の環境問題への取り組みを紹介。



COP3会議場の模様

ジャパン・デー参加者と語り合う
平岩外四会長1998
1999

1998年6月

「北東アジア温暖化対策ワークショップ」開催

北東アジア地域に適切な技術、事業を検討し、気候変動に対する長期的戦略を策定。

11月

COP4（アルゼンチン、ブエノスアイレス）参加

1999年6月

「グローバル・コモンズ世界環境会議'99」開催

UNDESA（国連経済社会局）と共催。

地球環境問題への国際的な取り組みを強化するための方策を提言した「東京宣言」を採択。



皇太子同妃両殿下

特別講演を行う、
ホセ・フィゲール
コスタ・リカ前大統領

小淵恵三内閣総理大臣

6月

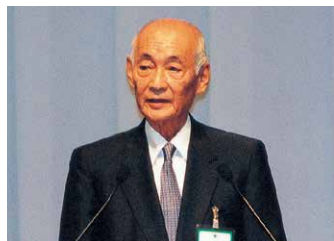
グローバル500賞受賞

UNEP（国連環境計画）が、持続可能な開発の基盤である環境の保護及び改善に功績のあった個人又は団体に与える名誉ある賞「グローバル500」を受賞。

クラウス・テプファー UNEP事務局長（左）
からメダルを受け取る平岩外四 GEA会長（右）

1999

- 10月 COP5（ボン）にてセミナー開催
セミナーの中で、グローバル・コモンズで採択された「東京宣言」を発表する。



青木正久 GEA 事務総局長

- 11月 「ふれあい自然塾シンポジウム」開催

自然の中に滞在しながら、自然観察や動植物とのふれあい、生活体験を通じて、楽しみながら自然や命の大切さを学ぶための環境学習拠点として「ふれあい自然塾」を整備。シンポジウムでは、政府が実施している関連施策、各自治体の実践状況、事例をもとに、有識者との意見交換を行った。



岩垂寿喜男 GEA 事務総局長



C. W. ニコル氏と子供達

2000

- 2000年5月 NGO ミレニアム・フォーラムに参加
(ニューヨーク国連本部)
インターネットを通じた環境基金設立を提案し、支持を得る。



愛知和男 衆議院議員

- 10月 「地球環境専門家会合」開催
20世紀の環境問題を見直し、21世紀の主たる地球規模の課題を予想し、取り組む方策を検討した。



地球環境専門家会合全体写真

2001

- 2001年7月 国連経済社会理事会 (ECOSOC) より、NGO 特殊協議資格を認定される

- 10月 「地球環境警鐘会議」開催

研究機関や国際機関の方々や、国際世論の形成に影響力のある方々の参加のもと、地球が抱える様々な問題に警鐘を鳴らし、世界へと発信する目的で開催される。持続可能な発展の実現に向けた国際的な対話、進展、そしてパートナーシップの育成に向けた、変革へのアプローチを採択。



会議の様相



皇太子殿下



ロバート・ワトソン IPCC 議長

- ヴァーチャルグローブ国際諮問委員会発足

インターネットを使用し、途上国の環境NGOを支援するプロジェクトのための委員会を設立。

2002

- 2002年8月 ヨハネスブルグサミットに於いて、“ジャパンデー”開催

日本の環境問題への取り組みを国際社会に紹介。悲惨な公害体験を克服しながら、経済発展を実現した過程を、教訓を交えビデオで紹介したのを始め、水、森林問題等のシンポジウムを開催。



左から、谷津義男衆議院議員、橋本龍太郎元内閣総理大臣



左から、小杉隆 GEA 事務総局長、広中和歌子参議院議員、海部俊樹元内閣総理大臣

2003

2003年10月 「地球環境国際会議：持続可能な未来のために」開催

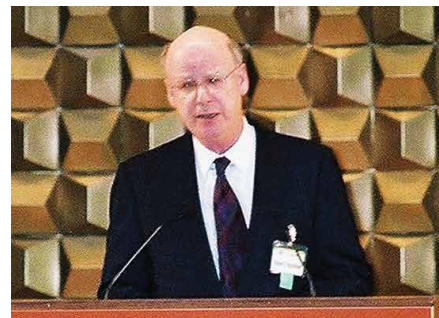
教育・IT・天然資源に焦点をあて、持続可能な未来のために、何ができ、何をすべきなのかを討議。採択された提言は、ヨハネスブルグサミットにおいて、日本政府が提案し採択された「国連持続可能な開発のための教育の10年」を推進するための、「国際実施計画」に反映される予定。本会議の直前には「エコユース会議」、また、会議最終日には「国連持続可能な開発のための教育の10年」のシンポジウムも開催。



GEA 斎藤十朗会長

GEA地球環境国際会議
小泉純一郎内閣総理大臣

エコユース会議議長

バスマ・タラル王女
Princess Basma Bint Talal
(シンポジウムで発言する)
ヨルダンハシミテ王国バスマ王女ロックフェラー兄弟財団理事長
スティーブン・ロックフェラー氏

ヴァーチャルグローブ中古パソコン寄贈プログラム開始

環境NGO支援プロジェクト「ヴァーチャルグローブ」事業の一環である“中古パソコン寄贈プログラム”が、NTT、マイクロソフト社の協力を得てスタート。第1弾として、愛媛県、福岡県、千葉県の小中高等学校等教育機関へ、合計600台の中古パソコンを寄贈。



愛媛県内子高校でのパソコン贈呈式で式辞を述べる、山本公一衆議院議員

2004

2004年7月 東南アジア視察

ヨハネスブルグサミットで、日本国が提唱した、「持続可能な開発のための教育の10年」を推進する一環として、アジア各国を歴訪し、現地環境、NGO／NPOが取り組んでいるプロジェクトを視察。



自見庄三郎 GEA 副会長（左）とファン・ヴァン・カイベトナム首相（右）

9月 「国連持続可能な開発のための教育の10年に向けたアジアからの発信」セミナー開催

東南アジアで活動するNGO／NPO、及び国際機関からの代表者参加のもと、タイに拠点を置く、AIT（アジア工科大学）において、AITとの共同セミナーを開催。このセミナーは、環境教育の視点から現場に携わる人々から意見を吸い上げ、実践的な活動として環境教育がアジア地域に普及し、その成果の発信により、国際社会からの協力・支援の輪が広がることを目指したものである。



左から、ジャン・ルイ・アルモンド アジア工科大学学長、クラッセ・チャナウォン タイ首相顧問、愛知和男 GEA 事務総局長



基調講演を行う広中和歌子 GEA 副会長

2005

2005年5月 Green Earth 21 スタート

音楽を通して、環境保全活動を推進するためのプロジェクト「Green Earth 21」スタート。5月21日、22日の両日、熊本県、阿蘇くじゅう国立公園の大自然の中、五木ひろし、八代亜紀、華原朋美らが参加のもと、チャリティーコンサートを開催した。

阿蘇のふもとで植樹する海部俊樹 GEA 顧問と歌手五木ひろし氏



6月 GEA アジア太平洋地域国際エコユース会議開催

2003年に開催した「GEA国際エコユース会議」の進捗状況をレビューすることを目的に、環境省主催の「アジア太平洋環境大臣会合」の関連行事として開催。アジア・太平洋地域において、環境問題に熱心に取り組む若者を集め、持続可能な開発のための環境国際社会を築く取り組みを議論した。



会議の模様



小池百合子環境大臣と会議参加者

2005

10月 GEA 国際会議「気候変動と持続可能な開発への影響」開催

気候変動が持続可能な開発に与える影響について、科学的知見と政策との連携を視点に、国内外からの有識者の参加のもと、国際会議を開催した。



皇太子同妃両殿下



小泉純一郎内閣総理大臣



基調講演 パウル・クルツツェン博士（1995年ノーベル化学賞受賞）

ヴァーチャルグローブ NGO 会議
「インターネット活用による、
アジアNPO/NGOの環境保全活動
の活性化について」開催

GEAが進める、途上国NGOを支援するプロジェクト“ヴァーチャルグローブ”に登録するアジア環境NGO参加のもと、環境保全活動推進のために、インターネットを活用する可能性を議論した。



会議の様式

12月 気候変動枠組条約第11回締約国会議（COP11）、京都議定書第1回締約国会議（MOP1）（モントリオール開催）に参加

モントリオールで開催された、COP11、MOP1のサイドイベントにおいて、10月に開催されたGEA国際会議「気候変動と持続可能な開発への影響」の提言を発表する。



COP11全体会議の様式

リチャード・キンレー UNFCCC 事務局長
代行と大木浩 GEA 事務総局長GEA 会議の報告をする
大木浩 GEA 事務総局長

2006

2006年6月 ヴァーチャルグローブ 環境NPO/NGO会議開催

2005年のNGO会議に引き続き、アジアで環境保全活動を推進する途上国の環境NGOを招聘し、各地域において取り組んでいる環境保全活動を、いっそう活性化させるために、効果があがる具体的な支援方法について議論した。



GEA メンバーと会議参加者



会議の様式



エコアジアを傍聴するNGO会議参加者

2007

2007年3月 GEA・ヴァーチャルグローブ
NPO・NGO環境保全活動
評価会議開催

2002年に立ち上げたヴァーチャルグローブプロジェクトの途上国における環境保全活動実施状況についての報告会を行い、その効果について検証・評価を行った。



会議参加者

10月 GEA 国際会議 2007
「持続可能な未来を実現する政策手法～
新しい温暖化の枠組みにむけて～」開催

2008年日本で開催される洞爺湖サミットに先駆け、内外の有識者を招き、地球温暖化問題を軸に政策手法を論じる会議を開催した。開会式では、アル・ゴア氏とともに2007年度のノーベル平和賞を受賞したIPCC（気候変動に関する政府間パネル）議長のラジェンドラ・パチャウリ博士が特別講演を行った。また、前日にはWEF（世界経済フォーラム）・WBCSD（持続可能な開発のための世界経済人会議）と共催で、企業の経営者による「気候変動政策と日本に関するラウンドテーブル」も開催された。



皇太子殿下



会議の様式

GEA 国際会議 2007
GEA International Conference 2007GEA 国際会議 2007
GEA International Conference 2007
福田康夫内閣総理大臣

2008

2008年5月 「持続可能な社会を実現する水俣国際環境会議」開催

熊本県水俣市に於いて、アジア6カ国のNPO／NGOの参加を得て、「日本の公害経験に学び、明るい未来を開くために」をテーマに国際セミナーを環境省・水俣市と共催。



パネリストとアジア
6カ国からの参加者

2009

2009年10月 GEA国際会議2009「低炭素社会を実現する科学技術と政策の推進」開催

9月の国連気候変動首脳会合において鳩山首相は日本が2020年までに温室効果ガスを1992年比25%削減することを表明。今回のGEA国際会議は「低炭素社会を実現するために有効な科学技術とは何か、どのような政策を展開すればその推進が図れるか」について議論を深めた。また併せて、ネパール、タイ、フィリピン、インド、スリランカのアジア5カ国から有力な環境団体を招請してアジアNPO/NGO国際会議を開催。アジア地域の実情に即した革新的環境技術の活用と地域連携について議論した。いずれも、会議成果をCOP15の関連会議において発表、実効性ある行動へと導くための国際世論の喚起に寄与した。



皇太子殿下



鳩山由紀夫内閣総理大臣



特別講演を行うエミル・サリム、
インドネシア大統領顧問



アジアNPO／
NGO国際会議参加者

2010

2010年9月 「生物多様性の保全と持続可能な利用」シンポジウム開催

10月に名古屋で「生物多様性条約第10回締約国会議（COP10）」が開催されることを踏まえ、「ポスト2010年目標と遺伝資源の利用と利益配分（ABS）～生物多様性からの恩恵を将来にわたって享受するために～」をテーマにアジアのNPOおよび有識者を招き、議定書をめぐる深刻な対立への解決策を模索した。



パネルディスカッション

10月 COP10 サイドイベントにて成果報告

地球憲章アジア太平洋・日本委員会主催の会議「持続可能な開発のための教育・生物多様性」においてシンポジウムでの成果を報告。また、COP10条約事務局・環境省・地球環境国際議員連盟（GLOBE）が共催した「生物多様性に関する国会議員会合」にて「名古屋議定書」の内容に関する政策提言を行う。

2011

2011年10月 GEA国際会議2011「復興を通じた持続可能な社会づくり～日本の再生を世界と共に～」開催

このたびの東日本大震災を契機に大量生産・大量消費に慣れたライフスタイルを見直し、新生日本の今後のあるべき姿を国内外の有識者と共に議論した。開会式では国際再生可能エネルギー機関（IRENA）事務局長であるアドナン・Z・アミン氏が基調講演を行い、再生可能エネルギーが日本の被災地の復興に不可欠であり、長期成長への新たな道を切り開くうえでも重要な役割を担うことが出来ると述べた。また、この会議の成果を政策提言や実効性の高い施策として具体化することに力を注ぎ、2012年6月にブラジルで開催される「リオ+20」をはじめ、様々な国際会議の場で幅広く紹介していく。



皇太子殿下



皇太子殿下



野田佳彦内閣総理大臣



基調講演をするアドナン・Z・アミン
国際再生可能エネルギー機関事務局長

2012

2012年6月 「国連持続可能な開発会議（リオ+20）」サイドイベントにてセミナー開催

6月20日 ブラジル・リオデジャネイロで開催された「国連持続可能な開発会議」のサイドイベントとして、ジャパンパビリオン内でジャパンデーセミナーを行った。第一部でGEA国際会議2011の内容を報告し、第三部のパネルディスカッションでは地球温暖化対策について議論した。その他、ディアス生物多様性条約事務局長、アジア開発銀行ロハニー副総裁をはじめ、国際機関の要人と会談を行った。



Rio+20 ジャパンパビリオン



GEA国際会議2011の成果を報告する広中和歌子 GEA事務総局長



パネルディスカッションで発言する大木浩 GEA相談役



左から、広中和歌子 GEA事務総局長、ブラウリオ・ディアス生物多様性条約事務局長、大木浩 GEA相談役

2013

2013年10月 GEA国際会議2013「リオ+20からの出発：持続可能な未来に向かって～経済のグリーン化による経済再生と国際社会への貢献～」開催

今回の会議ではリオ+20の成果を踏まえ、持続可能な未来を実現するための取り組みについて議論を行った。開会式ではノーベル化学賞受賞者（1986年）である李遠哲国際科学会議（ICSU）会長が「持続可能な未来への変革」というテーマで基調講演を行った。その中で「フューチャー・アース」の取り組みを紹介し、日本のリーダーシップを期待していると述べた。また、この会議の成果は11月にポーランドのワルシャワにおいて開催されたCOP19の関連会議にて広く紹介された。



皇太子同妃両殿下

基調講演
李遠哲博士
(1986年ノーベル化学賞受賞者)加藤勝信官房副長官
(安倍晋三内閣総理大臣代理)

2014

2014年7月 台湾政府の招請によりGEA代表団が訪台

広中和歌子 GEA事務総局長を団長に、山本公一 GEA副会長、近藤昭一 GEA副会長、鈴木俊一元環境大臣を副団長とするGEA代表団が台北市を訪問し、台湾の馬英九総統や林永樂外務大臣、葉欣誠環境副大臣ら現地要人と会談した。会談では東日本大震災の際の台湾の迅速な援助に感謝するとともに、主に環境分野での両国の協力について意見交換を行い、日台環境協力推進に尽力することを確認した。



馬英九台湾総統との会談

2014

11月 UNESCO世界会議のサイドイベントとしてESDセミナーを開催

11月10日～12日に名古屋で開催された「持続可能な開発のための教育（ESD）に関するユネスコ世界会議」のサイドイベントの一環として、広中事務総局長が代表を務める地球憲章アジア太平洋・日本委員会と共同でセミナーを開催した。特別ゲストに台湾の葉欣誠環境副大臣を迎え、「ESDにおける地球憲章の役割、成果及び課題」についてプレゼンテーションを行った。セミナー会場は立ち見も出るほどの大盛況であった。



葉欣誠台湾環境副大臣

2015

2015年10月 「GEA国際会議2015：気候変動対策と持続可能な社会の実現に向けて」を開催

開会式には皇太子・同妃両殿下、および安倍晋三内閣総理大臣を迎え、UNEP事務局長のアヒム・シュタイナー氏による基調講演が行われた。シュタイナー氏は「政策と技術の持つ力」をテーマに講演を行い、「2015年は非常に特別な年で、国際社会は歴史的な一歩を踏み出そうとしており、今こそが変革の機会であり、2℃目標を達成するための行動を起こす最後のチャンスである。未来の世代のためにも、我々は経済の脱炭素化を成し遂げなければならない」と語った。

基調講演をする
アヒム・シュタイナー
UNEP事務局長

皇太子同妃両殿下



安倍晋三内閣総理大臣

11月～12月

パリで開催された第21回気候変動枠組み条約締約国会議（COP21）のサイドイベント会場であるジャパンパビリオンにおいて、GEA国際会議2015の成果を報告



パリCOP21サイドイベント会場、ジャパンパビリオンにて

2016

2016年7月 横浜で開催されたIGES・国連大学サステイナビリティ高等研究所が主催する「持続可能なアジア太平洋に関する国際フォーラム（ISAP2016）」を後援

2017

2017年10月 「脱炭素社会に向けた新たな戦略の構築 ～持続可能な社会のための変革と行動～」を開催

今回の会議は「脱炭素社会実現」をテーマに、パリ協定における合意を実現するための社会的変革と行動を推進する新たな戦略づくりのために、世界中の有識者とともに議論を交わした。開会式には皇太子・同妃両殿下ご臨席の下、安倍晋三内閣総理大臣を迎え、前フランス気候変動交渉担当大使・COP21特別代表であるローレンス・トゥビアナ氏による基調講演が行われた。トゥビアナ氏は「大規模な脱炭素化への道筋」をテーマに講演し、「ゼロカーボンで全ての人にとっての豊かな未来を一緒に作っていく必要があり、日本の取組に期待している。」と述べた。



皇太子同妃両殿下

GEA国際会議 2017
安倍晋三内閣総理大臣GEA国際会議 2017
GEA International Conference 2017
基調講演を行う
ローレンス・トゥビアナ氏

2020

2020年12月 「環境と経済の統合～環境と成長の好循環を目指して～」国際会議を開催

コロナ禍により予定していた3月開催から12月へ延期開催となり、初めてハイブリッド方式で会議を行った。新型コロナウイルス感染症の世界的大流行を乗り越え環境と経済の好循環を実現するための方策を議論した。天皇・皇后両陛下ご臨席のもと、開会式では菅義偉内閣総理大臣から世界の流れに追いつき一歩先んじるために2050年までに実現する目標、炭素中立（カーボンニュートラル）への日本政府の取組みが述べられた。その後、国連環境計画（UNEP）インガー・アンダーセン事務局長のビデオによる基調講演、ノーベル化学賞受賞者の吉野彰氏の記念講演が行われた。アンダーセン氏は気候変動分野における2兆円の経済対策を発表した日本政府に謝意を述べ、「気候危機、生物多様性と自然の危機、汚染と廃棄物の危機」という3つの地球規模危機を解決するとともに、日本が指導的な役割を果たすことを期待していると述べた。吉野氏は「リチウムイオン電池を活用したサステナブル社会の実現に向けたシナリオ」を紹介した。



天皇皇后両陛下



菅義偉内閣総理大臣



吉野彰氏による記念公演



竹下亘GEA会長



インガー・アンダーセンUNEP事務局長のビデオ講演

2022

2022年10月 「持続可能な社会に向けた挑戦と可能性～気候変動、エネルギー、食料の安全保障～」開催

前回に引き続き新型コロナウイルスが全国規模で拡散している中での開催となり、開会式に行幸啓された天皇・皇后両陛下もマスクをご着用されるなど、来場者全員がマスクをつけての式典となった。陛下からは「本会議は私たちが国や立場の違いを超えて協力しあうための世界の叡智を結集する貴重な機会」というお言葉を賜った。岸田総理は「第26回気候変動枠組条約締約国会議（COP26）でのグラスゴー気候合意より世界は排出削減実施の段階に入り、パリ協定実現に向け全ての国による実効性ある行動が不可欠」と述べた。基調講演者のハンス・J・シェルンフーバー ボツダム気候影響研究所名誉所長はアインシュタインの言葉「世界は悪いことをする人によって破壊されるのではなく、それを見ながら何もしない人によって破壊される」を引用し、ウクライナ情勢を例にして言葉を結んだ。



天皇皇后両陛下

GEA国際会議2022
岸田文雄内閣総理大臣ファティ・ビロル国際エネルギー機関（IEA）
事務局長からのビデオメッセージ

基調講演 ハンス・J・シェルンフーバー ボツダム気候影響研究所名誉所長